

PRESS RELEASE

日野コンピューターシステム株式会社

2026 年 10 月 5 日

新刊発売 「トラックの軌跡が導く 持続可能な物流への挑戦」

- 25 万台のトラックが示す物流の未来とは? -

日野コンピューターシステム株式会社（本社：東京都日野市、代表取締役社長 岡田克巳、以下 HCS）は、日野自動車株式会社の子会社として、IT システムの開発からインフラ構築、運用保守までを担っています。

この度、日野トラックの車両データを活用したソリューションビジネスの舞台裏を公開する書籍「トラックの軌跡が導く 持続可能な物流への挑戦」（日野コンピューターシステム書籍出版委員会著）を 10 月 5 日に販売いたします。

本書は、日野自動車の IT 子会社として、日野トラックの実走行データから取得したコネクテッドデータを活用して、社会課題の解決や持続可能な物流に向けて取り組んできた、「私たちの挑戦の歩み」を全体のテーマとしています。

物流は、社会のインフラを支える重要な役割を担っていますが、「変化を続ける社会とその潮流の中で、どうすれば物流を止めることなく、持続可能な未来を築けるのか?」という普遍的なテーマに対して、本書が、物流業界の課題や社会課題の解決に向き合っている関係者の皆さまの次なる一歩を踏み出すための手助けになれば幸いです。



1. 本書の内容

当社は、「人流と物流の課題をデジタルの力で解決し持続可能な社会を実現する」というパーパス（企業の社会的存在意義）のもと、物流課題や社会課題を IT・デジタルの力で解決することを目指しています。

その中で、日野トラックの車両から取得した位置情報、走行距離、車速、安全装置の作動状況などの膨大な実走行データを高度に分析・可視化することで、自治体、官公庁、および建設コンサルタントなどが抱える課題に対して、データに基づく施策立案を支援するデジタルソリューション・サービスを提供しています。

本書は、これまで当社が取り組んできたこのような“持続可能な物流への挑戦”の過程を余すことなく著した内容となっています。

〈本件に関する問い合わせ先〉

日野コンピューターシステム株式会社
管理部 総務グループ 広報担当
E-mail: kanri2-h@hcs.hino.co.jp

2. 本書の内容紹介

章立て

- 第 1 章 「物流業界の変革」に挑む理由
- 第 2 章 「子会社移管」という選択が生んだ新たな可能性
- 第 3 章 物流DXを支える「車両データ」活用の最前線
- 第 4 章 共創によって付加価値をつくる
- 第 5 章 サステナブルな物流業界の未来へ向け

書籍情報

書 籍 名 トラックの軌跡が導く持続可能な物流への挑戦
著 者 日野コンピューターシステム書籍出版委員会
出 版 社 講談社
ISBN 978-4-06-54277-7
発 売 日 2026 年 10 月 5 日
価 格 定価 1,650 円(本体1,500円、税別)
判 型 等 A5判/ 198ページ

以 上

■会社概要

日野コンピューターシステム株式会社 (URL:<https://www.hino-cs.com/>)
創立:1986 年 10 月 1 日
代表取締役 岡田克巳
本社所在地:東京都日野市日野台1-16-12
事業内容: 情報・通信システムの開発・維持・運用管理・コンサルティング業務など
IT サービス事業、ソリューション事業、シェアード事業の 3 事業を展開

当社は、日野自動車グループの情報システム会社として 1986 年に設立しました。以来、日野自動車の IT 部門と協業し、全領域のシステム開発・維持・運用を行っています。現在は、これまでに培ってきた豊富な経験とノウハウ、そして高い技術力をもとに、運送事業者様の困りごとを解決するソリューション事業にも力を入れ、成長を続けています。

【本件に関するお問い合わせ先】

日野コンピューターシステム株式会社
管理部 総務グループ 広報担当
E-mail:kanri2-h@hcs.hino.co.jp

〈本件に関する問い合わせ先〉

日野コンピューターシステム株式会社
管理部 総務グループ 広報担当
E-mail:kanri2-h@hcs.hino.co.jp